

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 3月 11日

公表:令和 2年 3月 27日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		子どもの状況に応じて配置基準以上の職員配置をしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		子どもの状況に応じて検討していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			今後の実施を検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職場内研修の実施 自主研修の奨励と費用補助	パート職員の研修機会を広げる
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの好きなこと、やってみたい!と思えるところからプログラム作りをしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇には、特別プログラムを計画している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の記録を取りながら職員同士で話し合い、今後の支援に向けて検討している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者兼児発管が出席している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて学校訪問をし場を設けている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-		子どもの状況に応じて検討していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		同法人内での共有はある	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		随時連携を取っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		近隣に児童館があり、子どもの状況によって利用している。公園で、地域の子どもたちと遊ぶことがある	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		直接送迎時に、保護者との伝えあう場がある	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	直接送迎の為、施設内での保護者同士の交流がある	保護者のニーズをとらえて検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			

	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	法人として、バザーやお祭りへ招待している	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		各種マニュアルの見直しを行ない、周知の仕方を検討していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和2年 3月 27日

アンケート期間:令和 2年 2月 1日～令和 2年 2月 29日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

保護者等数(児童数)22(23) 回収数 13 割合 59 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	6	2			子どもの状況に合わせて検討する
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	12	1				
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	13					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3	3	1		交流事業を今後検討していく
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6	3			交流事業を具現化し計画的に検討していく
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2				
14 個人情報に十分注意しているか	12	1					
非常時等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	5	1	1		各種マニュアルの見直しを行ない、周知や説明の仕方を検討していく

の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	5	1	1		防災訓練計画を策定し実施していく
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13					
	18	事業所の支援に満足しているか	12	1				

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月27日

事業所 デイサービスみどりそよ風

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		親子の状況に合わせて配置基準以上の職員配置をしている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		安全にも配慮しながら環境整備を行っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者との引継ぎを行ない、職員全体につなげている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は今後実施していくか検討していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		研修内容に準じてパート職員も研修に参加していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画通り実施し、保護者の意見を把握している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもや保護者の様子からプログラムを立案している	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		保護者との連絡ノートを通じて記録している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		子どもの姿を保護者と話し合いながら計画に反映させている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス担当者会議開催時には児発管、又は担当者が出席していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			該当児がいる場合に保護者の同意を得て連絡体制を整えていく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継文書送付や訪問を行なっている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて引継ぎや訪問等を行なっていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターと密に連絡をとっている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		隣接保育園と交流している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		事業所の連絡会議や児童部会の参加。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者交流会や学習会を実施している	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		交流会を定期的に行っている	

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月おたよりを発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		わからないことは直接お話しして必要な説明をしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		法人の運営と照らし合わせながら実施を検討していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルの見直しを行ない、周知や説明の仕方を検討していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			防災訓練計画を策定し実施していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		保護者から同意書をもろうようにしている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 デイサービスみどりそよ風

保護者等数(児童数)11枚 回収数11枚

割合100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	10	1	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	9	2	0	0	手厚い。ただ職員が変わると戸惑うこともある	子どもや保護者にとって安心できる職員配置をしていく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2	0	0	子どもにとって視覚的にわかりやすい	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	0	0	いつもきれいに掃除されています 木のぬくもりを感じます	引き続き清潔で安全な環境を整えていきます
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	11	0	0	0	親のねがいや子どもの現状を話し合っ て個別性のある支援計画になっている	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	0	2	今の子どもに必要な取り組みと支援方法がある	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	11	0	0	0	グループによって活動が異なる プログラムが工夫されている	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	5	2	隣接の保育園と交流があった	就園指導の一環として園交流を進めています
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	11	0	0	0	ていねいに説明されています	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	8	0	0	3		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	5	3	0	3		今後も子育て、子ども理解を深める研修など取り組んでいく
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	0	0	0	他施設でのリハビリ状況をノートを通じて情報共有した 連絡ノートで子どもの状況を共有しています	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	11	0	0	0	悩んでいることや気になっていることを相談できた 母の困りごとにも聞いてもらえる	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	3	1	2	母同士のつながりはできて いる 行事を通じて母同士交流 を持てた	
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	11	0	0	0			

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	11	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発	8	0	0	3	行事はもう少し早めに連絡してほしい	半期での行事予定の確認や毎月のおたより等で伝えていく
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	8	0	0	3		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	6	2	2	1		各種マニュアルの見直しを行ない、周知や説明の仕方を検討していく
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	6	1	3	1		防災訓練計画を策定し実施していく
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	10	1	0	0	とても楽しみにしています。通う回数を増やせるといい	
	23	事業所の支援に満足している	11	0	0	0	大満足です いつも相談にのっていただいて大変感謝しています	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。